

desknet's NEO

グループウェア デスクネッツ ネオ

ユーザー事例集 vol.4



desknet's NEO って、本当に使いやすいの？
他の会社はどんな活用してるの？

お客様の声
集めました。

User's Voice

ヴァイオリニスト
松尾依里佳が
ユーザーを訪問！

「使われないシステムをなくしたい。」そう考え、みんながもっと“使いたくなる”
グループウェアをめざしたデスクネット ネオ。たくさんのお客様のお悩みを解決しています。



P.03

01

キュービーネットホールディングス株式会社

営業と店舗マネジメントの連携を強化し、
海外出店を支援



サービス

160
ユーザー



パッケージ版

スケジュール 閲覧レポート 設備予約 文書管理 タイムカード ウェブメール

600
ユーザー



パッケージ版



組合・団体

JA福岡市 福岡市農業協同組合

IT環境改善と全事業所を結ぶ
コミュニケーションを確立

インフォメーション ウェブメール 文書管理 ログイン画面 スケジュール 設備予約 閲覧レポート アンケート 電子会議室

06

P.13

P.05

02

株式会社 青柳総本家

組織全体を見渡す情報共有で老舗にさらなる魅力を



製造

77
ユーザー



クラウド版

スケジュール 設備予約 閲覧レポート ネオツイつぶやき ネオツイダイレクトメッセージ ウェブメール インフォメーション ポータル 電子会議室

400
ユーザー



パッケージ版



学校・教育

公立大学法人 滋賀県立大学

大学内システムのセキュリティ確保と
利用者意識の向上

ウェブメール スケジュール インフォメーション 文書管理 設備予約 キャビネット ワークフロー 議事録 アドレス帳 ネオツイ

07

P.15

P.07

03

株式会社大垣書店

営業日報の共有で全店舗の情報を集約



流通・小売

90
ユーザー



パッケージ版

閲覧レポート スケジュール ワークフロー 文書管理 設備予約 ネオツイつぶやき

2,500
ユーザー



パッケージ版



学校・教育

東京医療保健大学(学校法人 青葉学園)

学内情報共有で教務、学生の履修を支援

スケジュール インフォメーション 設備予約 文書管理 閲覧レポート アンケート 安否確認

08

P.17

P.09

04

沖縄県那覇市役所

職員の作業効率を高めて市民へのサービスを向上



官公庁

3,500
ユーザー



パッケージ版

ウェブメール スケジュール インフォメーション アンケート 設備予約 文書管理 伝言・所在 ネオツイダイレクトメッセージ

200
ユーザー



パッケージ版



医療・福祉

公益財団法人 福岡県すこやか健康事業団

事業所間を結ぶコミュニケーション基盤の統合

ウェブメール スケジュール インフォメーション 閲覧レポート 設備予約 議事録 ワークフロー

09

P.19

P.11

05

栃木県さくら市役所

庁内業務の活性化とともに職員のITスキルも向上



官公庁

500
ユーザー



パッケージ版

インフォメーション 設備予約 ウェブメール スケジュール 文書管理 ネオツイダイレクトメッセージ 閲覧レポート ワークフロー ポータル

30
ユーザー



パッケージ版



サービス

オーシャンエンジニアリング株式会社

申請書類の電子化や機材管理で調査出張を支援

ワークフロー 設備予約 閲覧レポート ポータル スケジュール インフォメーション タイムカード 文書管理 安否確認

10

P.21



サービス

キュービーネットホールディングス
株式会社

ヘアカット専門店

160
ユーザー

パッケージ版

desknet's NEO
導入事例

導入時期	2007年	従業員数	1,698名	設立	1996年	所在地	東京都渋谷区
事業内容	ヘアカット専門店「QBハウス」、ヘアカット&スタイリング専門店「FaSS」の直営およびフランチャイズ事業。介護福祉施設や病院への訪問理美容サービスなどを提供。全640店舗を国内・海外で運営。年間総来客数は1800万人に及ぶ。						
URL	http://www.qbnet.jp/						

課題解決 >>> 営業と店舗マネジメントの連携を強化し、海外出店を支援

この事例の
ポイント

- 1 急成長の過程で、相互のスケジュール確認・共有が難しくなっていた。
- 2 事業や企業組織の拡大にも柔軟に対応できるdesknet's NEOを採用。
- 3 国内はもとより、海外進出の支援にもdesknet's NEOは欠かせない！

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

全社スケジュール共有を実現。本部と営業スタッフ、シニア&エリアマネージャーのリアルタイムなスケジュール管理・所在確認が可能となり、営業訪問、店舗巡回、会議設定などのすべてが迅速になった。タイムゾーンの設定で海外とのテレビ会議の設定にも活用している。

回覧・レポート

営業が日々の日報提出に利用。毎日営業本部長・副本部長が閲覧している。訪問した店舗の報告や改善課題、新店舗開店準備の進捗状況などの共有にも活かされている。統一フォーマットによる起票で、時系列での閲覧管理も効率化された。

設備予約

スケジュールとの連携で会議室予約、海外とのテレビ会議の設定、ノートPCをはじめとする貸与備品の利用管理に活用。

タイムカード

紙の勤怠表から移行。本部社員のほか、外回りの社員も直行直帰時に出勤で活用。打刻データから勤怠表を迅速に作成でき、勤怠管理の省力化・効率化を実現した。

ウェブメール

クライアントにメールデータが残らないメリットを評価し、段階的にウェブメールへの移行を予定している。

文書管理

各エリアの現場スタッフ、スタイリストの人事評価情報を管理。情報漏洩防止、セキュリティのためにエリアごとに厳密に権限設定している。メールによる誤送信リスクを回避したい重要情報の厳重管理に活用が定着。メールでは送受信できない大容量ファイルの共有にも活用している。

ご利用中のお客様の声

急成長の過程で、相互のスケジュール確認・共有が難しくなっていた。

—— 情報共有の課題、背景には何があったのですか？

当社ではエリアマネージャーとエリア統括のシニアマネージャーが店舗のシフト管理や運営支援を、営業スタッフが新規開拓や販促活動を担当しています。以前は外部からインターネット経由でサーバーへアクセスできず、営業スタッフは共有管理していたスケジュール表を出先から入力・変更できませんでした。エリアマネージャーも店舗訪問時の連絡は、電話やFAXに限られていたのです。事業が急成長し200店舗を超え、年間50～60店のペースで新規開店が続くと、営業は1日2～3件は商談で移動。エリアマネージャーを統括するシニアマネージャーの担当店舗は20店を超えました。急な案件対応や予定調整のたびに出先の現場からは電話、FAXが入り、本部の管理部門は日に何度も各担当者に電話をかけて予定を調整していました。当時は営業日報もわざわざ帰社して起票していたので、営業効果や管理コストの面からも、効率よく情報を共有する手段が必要でした。

事業や企業組織の拡大にも柔軟に対応できるdesknet's NEOを採用。

—— グループウェアに着目した理由、製品検討はどのように行われましたか？

社内にはグループウェアの利用経験者が複数いて、自然な流れで導入しようということになりました。解決すべき大きな課題は「スケジュール共有」「会議の調整と会議室管理」「日報管理」の効率化なので、運用管理に負担がかからず、店舗や社員の急増にも柔軟に対応できそうなWebベースの製品を比較検討しました。desknet's NEOは、課題解決に直結する[スケジュール][設備予約][回覧・レポート]の各機能がわかりやすく、これなら現場ですぐに使えたと直感しました。

国内はもとより、海外進出の支援にもdesknet's NEOは欠かせない！

—— 課題解決で最初に手応えをお感じになった機能はなんですか？

[スケジュール]で営業が出先で予定を即決できるようになり、「次回は上司を同行させます」となれば、その場で次の訪問日を確定できるようにな

「営業 & マネジメントの連携強化が急成長の原動力に！
活用の現場は、海外にも広がっています!!」

キュービーネット
ホールディングス
株式会社

りました。営業会議も全員の空き時間をうまく活かして設定しています。[回覧・レポート]で日報も出先から提出できるようになり、1日の行動確認・報告の共有化で、営業チーム全体の動きもよく見えるようになりました。今では新規開店の進捗状況、テナント様との交渉の推移など、事業全体の動きがすべて共有できており、業務過程の確認や上長への相談もしやすくなりました。シニアマネージャーは各エリアマネージャーからの報告をひと目で把握でき、全店舗の出来事がリアルタイムで本部と共有できるようになりました。さらに、紙の勤怠表を廃止して新たに[タイムカード]を採用しました。そのまま勤怠管理～給与計算データとして活かせ、総務の業務効率化も実現しています。

—— 海外出店の事業でも、desknet's NEOをご活用いただいているとか。多言語対応とタイムゾーン設定で、ログインユーザーごとに言語と現地時間を設定できるのがいいですね。シンガポール・香港・台湾・日本のローカルタイムでスケジュール調整や設備登録がスムーズに行えるのは画期的です。日本と海外でストレスなくTV会議の予約・確認なども行っており、ス

スマートフォンやノートPCでの海外利用も定着しています。

—— desknet's NEO導入後の効果、今後の活用に期待することはありますか？

desknet's NEOのサーバーは東京に設置していますが、海外ユーザーから「遅い」などのクレームがきたことはありません。インターネット環境があれば、すぐに活用できるので、海外事業を展開するうえでも非常に助かっています。desknet's NEOは国内の基本的な業務改善はもちろん、海外とのリアルタイムの情報共有まで幅広くカバーしてくれています。国内はもとより世界各地のお客さまの反応を尊重しながら、さらなる顧客満足を追求していきたいですね。

管理本部 経営管理部
システムグループ長

坂口 浩芳 様

管理本部 総務人事部



宮城 志歩 様



製造

和洋菓子の製造・販売

desknet's NEO
導入事例

導入時期	2015年	従業員数	165名	創業	1879(明治12)年	所在地	名古屋市守山区
事業内容	和菓子・洋菓子の製造・販売。「青柳ういろ」をはじめとする人気商品が名古屋銘菓として定着。ういろにおけるトップクラスの生産量を誇る。魅力的な直営店の演出、パッケージ、新商品開発などアイデアあふれる経営で注目を集める老舗企業。						
URL	http://www.aoyagiurou.co.jp/						

77
ユーザー

クラウド版

「伝統を大切にしながら、現代に愛される味を。
情報共有の質を高めて、新たな一歩へ挑んでいます。」

課題解決 >>> 組織全体を見渡す情報共有で老舗にさらなる魅力を

この事例の ポイント

- 1 組織をコンパクトにつなぐ、密度が濃く迅速な情報共有の手段が必要だった。
- 2 何よりも社員の使いやすさを優先。コストも精査してdesknet's NEOを採用。
- 3 desknet's NEOの情報共有を新たなニーズ喚起、顧客満足や品質管理に活かす。

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

全社員のスケジュールを共有。部課でグループを分けフルオープンで公開。会議・打ち合わせは[設備予約]と連携活用。外出が多い営業、経営陣、部門長の所在がすぐ確認できるようになった。経営陣のスケジュールも空いていれば、事前調整なく予定入力が可能。必要なときに必要な人が柔軟に連携することに貢献。

設備予約

本社会議室の予約などにスケジュールと連携して活用。予約内容から来訪者の予定確認が可能のため、受付の来訪者管理にも活かされている。

インフォメーション

日々の通達や一斉お知らせ、健康診断の案内、福利厚生情報など、全社向けの通達や告知に利用。総務部からの発信が多い。

回覧・レポート

研修やセミナーのレポート、社内コーチング活動など、様々なレポートのやりとりに活用。販売店は月一回「販売店月報」を提出。販売店統括リーダー、営業部マネージャー、常務がコメントを入れ店舗運営をサポートしている。新商品発売前の商品説明、管理や取り扱いに関する留意点を全店で共有している。

電子会議室

店舗では「お客さまの声」を設置し共有。クレーム対応や商品への指摘など対応に迅速さや課題解決が求められるものに利用。その他、プロジェクトや定例の会議ごとにサブコミュニケーションツールとしても活用。

ポータル

月次の売り上げの進捗を更新ごとに書き換えて全社共有。

ネオツイ:つぶやき

店舗で印象に残った顧客とのやりとりやメッセージ、各部署から全社に知らせたいことを発信、PR広報のメディア露出情報などを共有。社内のムードや意識を鼓舞するものとしてポジティブなメッセージのみアップするルール。

ネオツイ:ダイレクトメッセージ

気軽なやりとり、業務上の軽微な確認事項などに利用。オフィシャルな業務案件はメールや回覧・レポートを利用するルールで使い分け。

ウェブメール

共有の端末を使っている製造現場や店舗などで重宝している。役職・職務によってはクライアントメールも併用。

ご利用中のおお客様の声

組織をコンパクトにつなぐ、 密度が濃く迅速な情報共有の手段が必要だった。

—— グループウェアに着目した背景についてお聞かせください。

社員間のコミュニケーションはたいへん良好でしたが、ITの活用度はそれほど高くはありませんでした。商品や品質には自信があるのですが、いざ商品リニューアルやパッケージの刷新、業務改善などの新たな試みに挑戦すると、組織内の連携や情報共有の課題が見えてきたのです。まずはインターネットとEメールが活用できる環境を整備したのですが、今度は社員の方からIT活用で「やりたいこと」がどんどん出てきて、やはり「組織全体を見渡せる情報の共有度が足りない」という指摘があり、有効な解決手法としてグループウェアに着目することになったのです。具体的には日常のコミュニケーションスピードを高め、部署間の業務連絡やスケジュール調整、会議室予約の迅速化をめざしました。社内コミュニケーションでは、部署や社員間の連携を密接にして、組織全体の動きや社員の意見、アイデアがよく見えるようにしたかった。特に、直接お客さまと接する販売店と本社、

製造の現場を結びつけることは、日々お菓子を製造し提供している企業として重視したところでした。

何よりも社員の使いやすさを優先。 コストも精査して desknet's NEO を採用。

—— 製品選定の手法とdesknet's NEO採用の決め手はなんですか？

現場で利用する社員の立場でインターフェースや操作性は特に注意し、PCに不慣れな人でも扱いやすく、運用に負荷がかからない製品を検討しました。そのような中「気軽にやさしく使い始められそう」という印象を与えてくれたのがdesknet's NEOでした。その後、ネオジャパンのセミナーにも参加して、機能、コスト、感覚的に設定できる管理機能などを評価して採用することにしました。

desknet's NEO の情報共有を新たなニーズ喚起、 顧客満足や品質管理に活かす。

—— desknet's NEO を導入してまずお感じになった手応えはなんですか？
情報共有のスピード感がアップし、コミュニケーションで抱えていたストレ

スが軽減できたことです。スケジュール調整や会議設定など実務上の利用はすぐに定着し、店舗へのタブレット端末導入で、本社、製造部門、店舗間で重要情報を共有する手段ができました。

—— 全社情報共有で得られた効果や変化はありましたか？

まず[電子会議室]に「お客さまの声」を設置して販売店同士で共有しました。商品へのご指摘やクレーム対応など、課題解決が求められるものについては、すぐに担当者に情報が届き、迅速に対応するための重要な手段になっています。[回覧・レポート]は各店の「月報」に活用中です。売り上げなどの数字以上に、各店のPDCAへの意識を高め、販売店をサポートする役割が強いものです。[ネオツイ]のつぶやきは、互いにモチベーションを高め合うポジティブな情報を発信しており、「喜ぶお子さまの反応がうれしかった」など、お客さまとふれあう販売現場の空気を製造部にも伝え、感じ合えるようになりました。今まさに店舗で起こっていることが共有でき、緊急時には本社も製造現場も迅速に対応できる。売り場、製造現場、本社の距離を近づけて、組織のコミュニケーションが良い意味でコンパクトになっ

たという感覚があります。

—— コンパクトというのはお互いがよく見える関係性ということですね。

創業時の店舗は街中の対面販売で、お客さまの喜ぶ様子がダイレクトに売る人作る人にも響いていたはずですが、それが品質向上やモチベーションに結びついていた原点の感覚を今に活かしている、という思いがあります。私たちは「守るべきものは大切にしながら、今のお客さまにいかにか喜んでいただけるか」を重視しています。古き佳きものを守りながらも、新たな取り組みを積極的に重ねていくことこそ次の伝統につながるのです。それには、店舗の気づきや社員のアイデア、全社的なコミュニケーションが欠かせません。desknet's NEOを役立てていこうと思います。

常務取締役



後藤 知成 様



流通・小売

株式会社大垣書店

雑誌・書籍、CD・DVD、文房具・雑貨の販売

desknet's NEO

導入事例

導入時期	2003年	従業員数	781名	創業	1942年	所在地	京都市北区
事業内容	京都を中心に35店舗を展開。CD・DVD、文房具・雑貨の販売、カフェ、ギャラリーの運営、出版事業、絶版書籍の限定復刻、在庫確認アプリの提供、インターネット注文への対応など、ネット社会における書店の新たな価値創出に取り組んでいる。						
URL	http://www.books-ogaki.co.jp/						

90
ユーザー

パッケージ版



株式会社大垣書店

「35店舗の営業日報共有で、売れる & 楽しい書店を演出。
リアルな書店員の直感を活かして、販売力を強化しています。」

大垣書店本店

課題解決 >>> 営業日報の共有で全店舗の情報を集約

この事例の
ポイント

- 1 大切にしてきた営業日報を迅速に集約。35店舗の情報連携も実現したかった。
- 2 「本屋の感性を活かせる」。書店経営者の視点でdesknet's NEOを採用。
- 3 desknet's NEOのリアルな情報共有が書店の魅力づくり、販売促進に貢献。

ご利用中の機能と使い方

回覧・レポート

導入の主目的だった営業日報の共有を実現。活用を契機に店舗間のヨコの連携もしやすくなり、35店舗で日々起こる出来事や売り場の状況などが可視化されるようになった。最も重要な機能として業務に採用・利用されたことで、教育を実施しなくても社員が自然にdesknet's NEOを活用するノウハウや習慣を身につけることにつながった。

15 スケジュール

店長、社員は必ずスケジュールを入力するルール。シフト勤務の店長同士が、連絡を取り合いたい時などにいつでも所在がわかるようになった。本社から店舗に連絡を入れる際に確実にコンタクトが取れるようになった。

ワークフロー

迅速な承認が求められる紙の申請書を段階的に移行中。[ワークフロー]化した申請についてはその都度各経路の承認者に説明し、理解を得ている。月2回の店長会議では配布するレジメで[ワークフロー]化した申請書類を告知している。

文書管理

規程類・マニュアル・報告書、各種申請書類のフォーマット約100文書を管理。業務上必要なものはほぼ収納されている。承認にスピードが求められる申請書は段階的に[ワークフロー]へ移行している。

設備予約

会議室、備品、社用車、出張販売用のレジスターの運用管理に使用。サンタクロースに扮した社員がプレゼントをお届けするクリスマス恒例のサンタデリバリーサービスでサンタクロースの訪問先管理に活用。迅速な予約管理とオーバーブッキング予防に役立っている。

ネオツイ:つぶやき

新聞、雑誌記事やテレビ、ラジオなど日常生活の中で接した書籍、音楽、映画に関する情報を共有。書店員の直感でセールスにつながりそうな情報を自由に発信し合い、在庫確認や売り場づくり、販売促進に役立っている。

ご利用中のお客様の声

大切にしてきた営業日報を迅速に集約。
35店舗の情報連携も実現したかった。

— グループウェア導入の背景には、どのような課題があったのでしょうか？

営業日報の提出から共有までの手順を効率化することで。以前は各店からFAXで本社に送信される日報の重要情報をダイジェスト化して、全店舗に配布・共有していました。しかし店舗の急増で共有までに手間も時間もかかるようになりました。日報には売り上げ以外にも店長コメントや店舗報告、売れ筋商品ランキング、書籍・商品動向など、販売促進直結の有益情報が集まります。特に商品の動向は重要で、ある書籍が「急に売れ出した」という報告があれば、すぐ各店の必要部数を確認して速やかに追加発注をかけたいところです。店舗情報の共有にタイムラグがある状況では、セールス・チャンスを逃してしまうおそれもありました。

「本屋の感性を活かせる」。
書店経営者の視点で desknet's NEO を採用。

— そこでグループウェアの導入を検討なさったのですか。

「日報を管理・共有するいいシステムはないか」と社長が地元経営者の会合で話したところ、ある方からdesknet's NEOを紹介され「実務に負担をかけず、各店の情報を共有するのに最適」と書店経営者の視点で感じたそうです。店舗間でリアルタイムに情報共有ができ、シフト勤務でパソコンを共用している店舗の実情にあっていること。新規出店に合わせユーザーアカウントを積み増せるところが社内でも評価されました。

desknet's NEO のリアルな情報共有が書店の魅力づくり、
販売促進に貢献。

— 営業日報の共有・展開は順調に進みましたか？

紙の書式をそのまま [回覧・レポート] に置き換えました。主な項目は1日の売り上げ、店長コメント、売り上げベストや注目商品などで、日々の営業に役立つ報告や各店の状況も確認できます。書店経営に重要な「数値・情報・報告」の3要素が共有でき、本社が最も注視する1日の売り上げも、即日集計できるようになった効果は大きいですね。相互にコメントも交わせるので、業績が良い店舗や他店の動きで気になる点を直接問い合

わせたり、課題を抱えている店舗をフォローするなどのコミュニケーションが本社と各店舗の間で実現して全店のモチベーションアップにつながっています。商品部では発注・仕入れ効率も高まり、商品の各店への割り振りや売れ筋商品の案内、人気書籍の重版情報などを[回覧・レポート]で迅速に全店舗に告知し、セールス・チャンスを逃さぬよう役立っています。申請書類は重要なものから [ワークフロー] へ移行中で、特に「JANマスタ登録の申請」は、各店舗で行っていたレジスターへの値段表示コードの読み込み作業を一括で行い、販売部門と全店舗で一元管理することに成功しました。

— 書店員さんの感性が活用範囲を拡げ、利用効果を高めているそうですね。[ネオツイ]のつぶやきは、書店員の直感やセールスに役立つ情報共有の場として活かされています。メディアで書籍や映画、音楽の話題が出れば、関連商品には必ず動きがあります。著名な作家や芸術家へのインタビュー、文学賞などのニュースも影響があるので、役立ちそうな情報をつぶやきで発信し、在庫確認や商品ディスプレイなどの販売促進に役立っています。

— desknet's NEO が書店業務に与えた効果についてお聞かせください。営業日報の[回覧・レポート]への移行で、数値や速報が全店で把握できるようになった効果は大きいですね。書籍はお客様の購買予測がしにくい商品でもあり、基幹システムの数値データより、店舗スタッフがdesknet's NEOで日々共有する直感的な予測や考察のほうが、早期の商品確保につながることも多いと思います。システムの最新データと書店員のリアルな現場感覚を融合して活用できるのがdesknet's NEOの面白いところです。今後も経験豊富なスタッフの交流から、魅力あふれる書店づくりのアイデアが生まれてくると思います。

専務取締役
ギャラリー北大路 館長

大垣 全央 様

営業本部 店舗運営部
店舗統括マネジャーシステム担当

伊藤 義浩 様



官公庁

自治体

desknet's NEO
導入事例

導入時期	2016年	職員数	3,963名(臨時・非常勤職員含む)	市制施行	1921年	所在地	沖縄県那覇市
事業内容	市政運営の指針は「平和・こども・未来「ひとつなくまち」」。沖縄県経済の中心地として、国際空港、港湾ともに発展。市民との協働によるまちづくりや子育て支援策にも積極的で、人口・出生数ともに増加を続けている。						
URL	http://www.city.naha.okinawa.jp/						

3,500
ユーザー

パッケージ版

「リプレイスで庁内の情報共有・連携が飛躍的に進化。
充実した市民サービスの提供を全職員でめざしています。」

課題解決 >>> 職員の作業効率を高めて市民へのサービスを向上

この事例の
ポイント

- 1 庁内情報共有・連携強化を目標に10年利用した製品のリプレイスを決定。
- 2 自治体での確かな実績、機能・運用・コストの総合評価でdesknet's NEOを採用。
- 3 desknet's NEOで庁内業務を効率化。さらなるパワーを市民サービスのために。

ご利用中の機能と使い方

ウェブメール

全職員がメインのメーラー、情報交換ツールとして毎日活用。個人アカウントと部署ごとの代表メールが定着している。メール保存期間は6カ月に設定。

15 スケジュール

全職員の予定共有と前システムにはなかった部課ごとの予定管理も実現。部署を越えた職員間の予定調整にも役立ち、組織横断的な作業部会やプロジェクトのメンバー間共有、市長と2名の副市長の三役(市長は一部公開)の予定も公開されている。

インフォメーション

全職員へアナウンスしたい文書を簡単に掲示でき、庁内全体の情報伝達ツールとして活用。各課への通知文書や福利厚生関連の告知が中心。

アンケート

簡単に作成でき、全庁職員の意見を拾いやすくなった。desknet's NEO活用の「よくある問い合わせ」「便利な使い方」の情報収集にも活かされ、活用浸透にも貢献。

設備予約

会議室、公用車、備品管理に活用。[スケジュール]の連携も定着。各課個別の業務備品管理なども今後展開する予定。

伝言・所在

担当者が何をしているかひと目で確認でき、所在の問い合わせなどに即答でき便利。[スケジュール]との連携で、予定登録時に通知し情報の「気づき」にもつながっている。

文書管理

前製品から10万件近いデータを移行した業務に欠かせない機能。「各課で閲覧権を管理」「要綱・要領等」「業務関連申請書等」の3分野で構成。部課ごとに所管している要綱・要領や、職員向けの申請書フォーマットの最新版も管理。

ネットウイ:ダイレクトメッセージ

SNS感覚で気軽な業務上のアイデアや意見交換に多用されている。外部に情報が漏れずデータ量も抑制できるので、各種ファイルの課内共有などにも活用されている。



ご利用中のお客様の声

庁内情報共有・連携強化を目標に
10年利用した製品のリプレイスを決定。

— 新たなグループウェアの導入を決定した背景についてお聞かせください。
前システムの契約満了に伴い製品を再検討しました。ハードウェアも5年が経過し、庁内の情報共有環境を見直す良い契機でした。旧製品は一部の利用機能が特定のブラウザでしか利用できず、万一脆弱性が発覚した際などには、別のブラウザで対応できません。庁内の業務に支障が出る危険性もあり、リプレイスを決定。プロポーザル方式で提案を募りました。

自治体での確かな実績、機能・運用・コストの総合評価で
desknet's NEOを採用。

— 要件策定時の留意点、プロポーザルの評価ポイントはなんですか？
前製品と同等以上の機能を有するシステムで、大規模ユーザーでも管理運用上負荷の少ないWebベースであること。複数のOS、ブラウザとの組み合わせでも正常に動作してくれることです。何より重視したのが「グループウェアの運用を絶対に止めてはならない」ということでした。プロ

ポーザルの評価ポイントは、機能評価・提案評価・価格評価の3点で、desknet's NEOをはじめ複数製品が数社から提示されました。データ移行や導入後の安定的な運用環境、障害発生時の対応、情報管理上の責任所在、コストなど総合的に評価しました。

— desknet's NEO ご採用の決め手についてお聞かせください。

複数のブラウザで正常に動作する点がひとつ。前製品と同等の機能をすべて備え、活用法もわかりやすかったことです。沖縄県内自治体や那覇市と同規模自治体での成功実績も信頼・評価の対象になりました。1台でも運用できるWebサーバーを3台に分散して運用環境を強化し、各種帳票類や保存資料など10数万件の[文書管理]への移行も滞りなく実施できました。

desknet's NEOで庁内業務を効率化。
さらなるパワーを市民サービスのために。

— 移行後リプレイスの手応えや効果を実感なさった瞬間はありましたか？
desknet's NEOへの移行がスムーズに完了し、障害もなく3千ユーザー

の利用が開始できたことです。前製品と大きくインターフェースは変わりましたが、直感的で非常に使いやすかった。庁内全職員をはじめ市長事務局、消防局、教育委員会のほか、選挙管理委員会、監査委員会、議会などの各事務局での活用も定着しました。さらに、年度末の人事異動処理の労力を削減できたことは大きいですね。前製品では異動のたび時間をかけ人事給与データから取り込み作業を行っており、毎年3月中旬の人事異動内示から4月1日まで残業の連続でした。リプレイス時にdesknet's NEOの管理機能は「人事異動設定がしやすい」点も評価していたのです。

— 機能活用面でユーザーの変化や進化をお感じになることはありますか？

desknet's NEOポータルでユーザーの声をもとに作成した「よくある問い合わせ」「便利な使い方」を共有・公開しています。「便利な使い方」では[アンケート]で募集した、便利な連携機能や設定を集め、実務ですぐに役立つ[スケジュール][メール][文書管理]などの活用法を共有しています。ユーザーによる解説がわかりやすく活用浸透にも役立っています。

— 庁内のコミュニケーションや業務への効果についてお聞かせください。

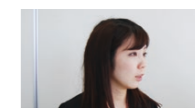
共有ポータルに人事課が庁内サイトを起ち上げ、ペットの紹介など親しみやすい話題をフックに「産休・育休」「メンタルヘルス相談室の案内」など福利厚生の重要情報を全職員が見逃さぬよう提供しています。毎日ログインするdesknet's NEOなら閲覧率も高く、リッチテキストエディターで手早くコンテンツが作成でき、今後も活用できそうです。desknet's NEOは即時性の高い情報をポータルの目立つ場所にレイアウトしたり、通知機能で情報を見逃さない。機能間連携で複数機能に同時に情報をアップすることが手早くできます。自発的な活用も進み、庁内の情報共有や職員の作業効率は確実に上がりました。さらなる市民サービスの充実にパワーを振り向けていきたいですね。

企画財務部 情報政策課 主幹



伊朝 太 様

企画財務部 情報政策課 主事



大城 みなみ 様

企画財務部 情報政策課 主事



具志堅 政之 様



導入時期	2014年	職員数	320名	市制施行	2005年	所在地	栃木県さくら市
事業内容	栃木県塩谷郡氏家町と喜連川町の合併により市制施行。県の中央部に位置し、交通の利便性、子育て環境や住宅地などの生活基盤に恵まれていることから、県内でも1、2を競う人口増加率を誇る。						
URL	http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/						

500

ユーザー



パッケージ版



「もっと住みやすく!さくら市にしかできないまちづくりの秘策をみんなで共有しています。」

課題解決 >>> 庁内業務の活性化とともに職員のITスキルも向上

この事例のポイント

- 1 利用していた製品が販売終了に。グループウェアのリプレースが必要になった。
- 2 コスパだけじゃない!つねに機能進化をめざすdesknet's NEOの開発姿勢に共感。
- 3 desknet's NEOを使い続けることが、庁内に情報共有のトレンドをもたらす。

ご利用中の機能と使い方

インフォメーション

人事異動関係の報告書、各種通達、福利厚生関係の告知、サーバーメンテナンスのお知らせなど、1日平均10件くらいアップされる。通達の7割は総務・企画・財政の管理部署からで、期限付きの確認事項や回答要請などを庁内職員に向け告知している。

ウェブメール

全職員が活用。庁内職員間、外部契約事業者との契約書や日々の打ち合わせ記録、栃木県や他の自治体との情報交換やファイル送付に活用。

15 スケジュール

職員全員のスケジュールを共有・閲覧可能。市長・副市長・教育長の三役をはじめ、部長級のスケジュールも共有でき、行事参加や会議日程の調整が迅速になった。

設備予約

会議室10室、備品(プロジェクタ、カーナビ)5点、公用車両10台を一括管理。

文書管理

各種規程集や例規集、議会の答弁書、正式な書式と文書作成・管理の統一規程など、200件を超える書式を恒久的に参照できるように保存・管理している。「格式張ったファイルサーバー」という位置づけで、改訂時にはインフォメーションで告知している。

ワークフロー

課ごとに承認経路が異なる工事の入札依頼・受け付けに活用予定。紙の書類とExcelデータのメール送付で行われているものを段階的に移行する予定。

ポータル

レイアウトを前製品に近づけ、ユーザーが利用しやすいように配慮。[インフォメーション][スケジュール]など必須情報のほか、例規集や法令改正情報など業務関連のリンクを[ブックマーク]に表示している。

ネオツイ:ダイレクトメッセージ

メール代わりに活用。添付ファイルに容量制限がないので、特定の相手と資料ファイルを共有し、打ち合わせをする際にひんぱんに使われている。

回覧・レポート

庁内メールとして浸透させ、「情報の迅速な伝達・共有」「資料共有によるペーパーレス化」などの目的で職員間の資料共有や意見交換のツールとして活用を促進中。



ご利用中のお客様の声

利用していた製品が販売終了に。グループウェアのリプレースが必要になった。

— グループウェア リプレースの経緯をお聞かせください？

市制施行より10年、利用してきた製品が販売終了となりバージョンアップも停止。将来の機能強化は見込めず、そのままでは庁内のITスキルも停滞してしまうおそれがありました。ランニングコストも高額で、機能の進化にも乏しくインターフェースも古いまま。文字の強調やアイコンなど視覚的效果に訴え情報の注目度を高める活用もできず味気なかった。利用面でも検索機能に乏しく、メールやインフォメーションは件名にしか対応していないし、メール添付も最新のファイル形式が送れません。もっと快適でユーザーが楽しんで使える製品を提供したいとリプレースを決定しました。

コスパだけじゃない!つねに機能進化をめざすdesknet's NEOの開発姿勢に共感。

— 製品選択時の留意点、desknet's NEO 採用の決め手はなんですか？
コスト・機能・運用面を勘案し仕様書を作成しプロポーザルを実施。

desknet's NEOの競合製品や自治体向け製品などを4社からご提案いただきました。自治体としてシビアなコスト感覚と、それに見合う機能活用で効果を発揮しなければ市民に利益を還元できません。「開発が終了せず機能進化を続ける」「ユーザーが使いやすい」ことは必須条件でした。desknet's NEOは業務活用できる高度な機能が初期費用ですべて揃い、業務環境の変化やニーズの拡大、ユーザースキルの向上に応じ追加費用なしで活用が進展できます。バージョンアップも定期的の実施され、進化を止めない開発姿勢にも共感できました。県内自治体のシェアも高く「代表メールや共有アカウントによる活用」「管理者承認が必要な設備予約の設定と運用」と役所の業務に欠かせない活用もできる。「各種業務システムとの連携」を簡単に組む「ポータルレイアウトをGUIで実現できる」ところも特に評価した点です。上職者や各部代表職員の評価、仕様評価等の総合点で最高評価をつけたのがdesknet's NEOでした。

導入時はユーザーが移行しやすいようポータルのレイアウトを旧製品のイメージに近づけましたが、シンプルなユーザーインターフェースや簡潔

なマニュアルのおかげで、わからない。使えない。といった声はありませんでした。

desknet's NEOを使い続けることが、庁内に情報共有のトレンドをもたらす。

— 導入後、手応えや利用効果をお感じになった機能はありますか？

[スケジュール]で職員全員の予定を把握できるようにしたことです。特に市長、副市長、教育長の三役と部長クラス以上の上職者の予定を公開したことで予定を確定しやすくなりました。個人の予定入力を徹底したため、会議の調整も速く確実になりました。特に部長クラスの合同会議は多く、専用スケジュールカテゴリーを設けています。グループをすぐに作れるので、部署を横断するプロジェクトの予定管理や打ち合わせの調整なども即決です。[文書管理]では、いち早くマイナンバー関係の規程を共有。内規集にマイナンバー関連の情報や取り扱いルールを集約し、正しく規程に則った処理が徹底できるようにしています。規程の管理方法や個人情報に関わる厳密な文書は個別に管理権限を有する者しか閲覧できないフォルダも設けています。

— 導入後にお感じになった変化や今後に期待することはありますか？

desknet's NEOは、最新の技術トレンドを盛り込んだバージョンアップや機能強化で絶えずユーザーを刺激してくれます。[ウェブメール]ひとつとっても、以前できなかったドラッグ&ドロップやフォルダ管理などを、今ではあたり前のように庁内全職員が使いこなしています。日々使い続けることが、ユーザーの進化や情報共有の最新手法につながっていく。desknet's NEOはこれからも、そういう製品であり続けて欲しいですね。

総務部 財政課
主幹兼課長補佐



高野 朋久 様

総務部 財政課
情報システム係



永井 高広 様



導入時期	2004年	職員数	631名	設立	1962年	所在地	福岡県福岡市
事業内容	農業協同組合。営農指導事業、販売事業、購買事業、信用事業、共済事業ほか。都市近郊農業の発展および新規就農者等の育成による地域農業の振興、相談活動、金融・共済事業、食農教育や協同活動による地域活性化に取り組む。						
URL	http://www.ja-fukuoka.or.jp/						

600
ユーザー

パッケージ版

「農協ならではの取り組みや事業の最新情報をつねに共有。
アイデアや工夫を活かすチャンスがいっそう増えました！」

課題解決 >>> IT環境改善と全事業所を結ぶコミュニケーションを確立

この事例の
ポイント

- 1 「一人一台、全職員にメールアドレス」をめざし、グループウェアのリプレイスを決定。
- 2 導入&運用コスト、ユーザーの使用感で高く評価されたdesknet's NEOを採用。
- 3 組織を横断する情報連携で、アイデアの共有や業務改革の取り組みに手応えを実感。

ご利用中の機能と使い方

インフォメーション

利用比率で最も高いのが本店から各事業所への通知。通知先も細かく設定でき、必要な情報を的確に発信できる点を評価。紙文書の削減も実現。各支店・事業所からの発信も含め全組織で情報を共有する機能として導入当初より定着。

ウェブメール

desknet's NEOで一人1メールアドレスを実現。すべての業務メールに活用。[インフォメーション]とともに最も利用度の高い機能。

文書管理

組織全体の共有文書に活用。業務関連の申請書類や金融系の各種書式など、正式に業務利用が認められている書式の最新版を共有管理している。日々の事業実績も共有し日次で管理閲覧を可能にしている。

ログイン画面

支店・地区ごとのイベント、ゆるキャラランプリ参戦など、タイムリーな行事を写真で速報。全職員にいち早く情報を告知でき、把握するのが難しかった他の支店・地区の取り組みの相互理解に成功。職員にも評判が良く、情報掲載の要望が絶えない。

15 スケジュール

役員が率先して入力徹底を通知し活用を奨励。エクスポート機能の活用で、迅速にスケジュール表を作成でき、総務が全部署一括の行事予定を作成する際にも役立っている。

回覧・レポート

小規模会議の出欠や課内の事前資料共有、閲覧資料を交えた部課内の打ち合わせの準備や事前協議などに活用。

設備予約

業務が幅広い分多様な会議・打ち合わせが多く、会議室管理に不可欠。PCやプロジェクタ以外にイベント用音響機器、送迎用マイクロバス、もちつきセット、ゆるキャラ「あまっち」の着ぐるみ管理。秋などイベントが集中する時期のやりくりが絶対欠かせない。

アンケート

信用・共済事業の営業担当者が報告書を作成・共有。月末の実績報告に活用。迅速な集計を実現。

電子会議室

自由に意見や議題を提案できる「なんでも検討会議室」を設置。匿名可能で自由度を高め、業務アドバイスやアイデア交換、パソコン活用法の質問へのアドバイスや関連マニュアルの作成・共有などに活用。



ご利用中のお客様の声

「一人一台、全職員にメールアドレス」をめざし、
グループウェアのリプレイスを決定。

— 以前の情報共有の手法や課題について教えてください。

本店から全事業所への通達に著名なクライアント・サーバー製品を利用していましたが、個人のメールアドレスはなく各部署長が、共用PCで通達事項を確認し、朝礼や打ち合わせ時に告知したり、紙に出力して職員に回覧していました。やがてPCやメールアドレスの共用にも無理が生じ、情報共有にもタイムラグが発生。業務を円滑に進めるため「一人一台、全職員にメールアドレス」をめざしてIT活用推進プロジェクトを始動。グループウェアのリプレイスに取り組みました。

導入&運用コスト、ユーザーの使用感で高く評価された
desknet's NEOを採用。

— 製品選定の留意点やdesknet's NEOでめざした活用手法はなんですか？

JAは生産者の出資によって成り立つ相互扶助組織ですから、インシヤル&ランニングコストは厳密に精査しました。本店と全事業所50拠点、

600ユーザーへの展開を考えると導入・運用管理の面でもWebベース製品が最適でした。製品選択ではコアユーザーとなる一般職員からPCスキルが異なるメンバーを無作為に選出。ウェブメール、インフォメーション、文書管理等を実際に試用比較し、「操作がわかりやすい」と高く評価されたのがdesknet's NEOでした。導入後は本店と支店間だけではなく、今まで難しかった各地区の支店や事業拠点を相互に結ぶヨコの情報共有や連携をめざしました。JA福岡市では各支店が「支店行動計画」を策定し、食農教育や体験農業、生産品青空市など「食と農」のイベントや地域貢献活動に力を入れています。トップダウンではなくヨコの連携こそ組合にふさわしく、desknet's NEOの活用で私たちの活動をより良いものにできるという期待感がありました。

組織を横断する情報連携で、
アイデアの共有や業務改革の取り組みに手応えを実感。

— 導入後にまずお感じになった手応えや成果はありましたか？

本店と支店のタイムラグのない情報共有はすぐ実現できました。大部分の

職員にとって職場で初めて使う個人のメールやグループウェアがdesknet's NEOでしたが、短期間で導入～実務利用を実現できたことは最大の効果です。本店から各支店への通達、部署内の意見交換や資料共有など、日常業務で行っていたことを段階的に各種機能に移行し、短期間で[文書管理][設備予約][アンケート][回覧・レポート][電子会議室]などが定着しました。導入当初、相互に共有すべき決定事項などを「知らなかった」という職員がいれば、「いやいや、インフォメーションで見られるようになったら」と指摘するなど「見ていないと自分が困るし、仕事の効率も落ちるんだよ」という認識を積極的に醸成したことも良かったと思います。

— 全国のJA組織にもdesknet's NEOの活用が目ざされているそうですね。

JA福岡市の「食と農」のイベントや支店行動計画、農畜産物ブランド「博多じょうもんさん」の事業活動やイベント企画、支店間の情報連携にdesknet's NEOを活用していることがJA全中(全国農業協同組合中央会)のホームページで紹介され、掲載後全国の組織からお問い合わせをいただきました。イベントといえば、苺あまおうのゆるキャラ「あまっち」

も[設備予約]でスケジュール管理しています。おかげさまで収穫期の秋などイベントが集中する時期でも、1体でやりくりできているんですよ。

— desknet's NEO導入後の効果についてお聞かせください。

導入時に期待していた組織横断の情報連携には確かな手応えを感じています。現在、食農教育や収穫体験の写真を[ログイン画面]に載せているのですが、あらゆる部門の職員が地域の農業振興に取り組むJA福岡市の日々の最新動向を共有できるようになり、支店間の活発な情報交換やアイデアの共有に発展しています。職員一人ひとりが企業価値を再認識し、desknet's NEOの活用が仕事へのアイデアやモチベーションにつながってくれることを期待しています。

経営企画部 総合企画課
課長

岩谷 雄輔 様

経営企画部 総合企画課
システム兼広報係長

堀 正司 様

経営企画部 総合企画課



山下 裕志 様



導入時期 2006年 教職員数 257名 設立 1995年 所在地 滋賀県彦根市

事業内容 公立大学法人。4学部13学科の総合大学。「環境と人間」をキーワードとした教育研究の推進とともに、産学協働など地域連携機能の強化、地方創生にも積極的に取り組んでいる。

URL http://www.usp.ac.jp/

400
ユーザー

パッケージ版

「大学にとって重要な安全性と信頼性、
自由闊達な情報共有を両立できました。」

課題解決 >>> 大学内システムのセキュリティ確保と利用者意識の向上

この事例の
ポイント

- 1 教務の質を高める情報共有とシステムの安全性・信頼性を両立させたかった。
- 2 使いやすさ・コスト・安心を満たすdesknet's NEOを採用。ポータル化で利用度UP。
- 3 desknet's NEOの活用で学内外の動きを“見える化”。セキュリティ意識も向上。

ご利用中の機能と使い方

ウェブメール

安全上課題があった前製品から移行・統合したことで管理運用の負担が軽減。全ユーザーが毎日必ずログインすることで利用定着にも貢献している。送信前のアドレスチェック、BCC警告、取り消しなどの誤送信防止機能をオンに設定。

15 スケジュール

活用度を上げるため全ユーザーに利用を推奨。個人や所属部署の予定を入力し、学内外活動の見える化を推進。学部学科単位のスケジュール管理も行い全学部の予定を把握。

インフォメーション

旧desknet's時代から広報や意見紹介などの全学告知に活用。1日平均5通アップされるためカテゴリー分けて各学部の共有情報が確認しやすいように設定。

文書管理

規程集、マニュアルなどを共有管理。役員会議資料をPDF化してタブレットで共有。各学部のアクセス権限をつけ共有フォルダとして活用。教授会や共有資料、議事録などを管理。紙資料の削減にもつながった。

設備予約

本部・各学部の会議室や公用車を管理。大小多様な会議室を目的に合わせて効率的に運用。eラーニングなどPC設置の講義室も管理。以前の台帳管理から大幅に稼働率を改善。

キャビネット

情報セキュリティの規程に則り書類・データの持ち出し防止に活用。学生の成績評価や学部内機密情報などを自宅作業する際に外部に持ち出さない手段として提供している。

ワークフロー

包括ライセンス契約をしている表計算・ワープロ・プレゼン、画像処理などのソフトウェア利用申請、その他、各種情報ネットワーク系の申請に活用。申請承認の迅速化と申請書管理、ペーパーレス化のすべてを実現。学術環境の充実とライセンス管理の省力化を両立。

議事録

各学部の会議、打ち合わせの記録共有に活用。

アドレス帳

ポータルからアクセスできる学内名簿として活用。学部をまたいだ教員間のやりとりや呼びかけに活用されている。

ネットツィ

つぶやきで当日開催される研修会や勉強会などのお知らせを発信。

ご利用中のお客様の声

教務の質を高める情報共有と
システムの安全性・信頼性を両立させたかった。

— desknet's NEO ご採用以前の課題についてお聞かせください。

安全上課題があったメーラーを廃止統合し、新たなグループウェアの導入を通して、信頼性の高い情報共有の環境を整備することで。以前は学内のクライアントメールと学外利用も可能なWebメールを並行運用していましたが、Webメールへの不正ログイン、外部攻撃などの事例が全国の大学で報告され、早急なメールシステムの見直しが必要となりました。本学には工学部電子システム工学科もあり、セキュリティ専門の教員もいます。大学の信頼を堅持する意味でもセキュリティは重要で、安心して情報共有できる環境が教務サポート、大学教育の充実にも不可欠と考えました。

使いやすさ・コスト・安心を満たす desknet's NEO を採用。
ポータル化で利用度UP。

— 製品選定、採用の決め手となったのはどのような点ですか？

滋賀県立大学設立の2006年に旧desknet'sの導入実績があり[スケ

ジュール][インフォメーション]などの機能が活用されていました。desknet's NEOなら違和感なく使い、専用コンバートツールでデータ移行も問題なく実施できることがわかりました。コスト面でも無制限ユーザーがイニシャル&ランニングともに有利で、課題だったメール機能も非常に使いやすく進化していたため採用を決定しました。desknet's NEOは学内ポータルとしてもカスタマイズしやすく、教務関連の各種システムとの連携活用を可能にします。さらに、シングルサインオンの利用環境を構築・活用しやすいことも決め手となりました。desknet's NEOの連携オプション、統合Windows認証の活用で、メールをはじめdesknet's NEOの機能と複数の学内システムをシームレスで使いこなすこともねらわれていた。

desknet's NEOの活用で学内外の動きを“見える化”。
セキュリティ意識も向上。

— セキュリティの強化と desknet's NEO の活用浸透は両立できましたか？

desknet's NEOは学内限定ポータルとしての活用を基本に、学内で完結しない業務や教務が多い教職員には必要に応じSSL-VPNを介した学外

利用を実現しました。工学系の専門教員からはSSL-VPN+desknet's NEOの2重ログインによるセキュリティ強化が評価され「安心」「使いやすい」と利用が進みました。特に[ウェブメール]は活用浸透に貢献してくれました。メールは必ずチェックするので、ログイン後は[インフォメーション][スケジュール]などのdesknet's NEOの各種機能と複数の教務システムをストレスなく使い分けて活用できます。

— 導入の手応えや実務効果、教職員のセキュリティ意識に変化はありましたか？

IEを利用する職員には、すぐに業務に入ると統合Windows認証が好評です。教員は所在確認に手間取ることも多かったため[スケジュール]の活用を特に奨励。連絡が取りやすくなり、急なマスコミ取材対応にも迅速な日程調整が可能になりました。[文書管理][キャビネット]での会議資料や学部内資料の事前共有で、会議の効率化、ペーパーレス化も促進。紙の使用量が大幅に減り資源削減効果も上げました。[ウェブメール]は誤送信防止機能のプレビューで送信前確認やBCCのチェックが習慣化。学外持ち出し禁止情報は[キャビネット]に保管。自宅作業では必ずSSL-VPNでロギ

ンなど、ルールに則って活用することが、教職員の永続的なセキュリティ意識につながっています。

— 学内システム全体に与えた効果、今後のご利用方針についてお聞かせください。管理面ではメールのdesknet's NEOへの統合で、ユーザー対応が簡素化・効率化できました。実務上不可欠な複数の機能をdesknet's NEOのポータルで把握し、学内外の動きを“可視化”できる環境が整備された成果は特に大きく、「安全な環境でやりたいことを実現する」ための情報共有基盤が整いました。今後も安心かつ快適に、大学にふさわしい自由闊達な活用を継続したいですね。

経営企画グループ 統括
(現 滋賀県私学・大学振興課長)

久保田 貢 様

経営企画グループ 主査



濱野 勝也 様

経営企画グループ 主事



中嶋 崇裕 様



導入時期	2005年	教職員数	300名	学生数	2,200名	開学	2005年	所在地	東京都品川区、世田谷区、目黒区、立川市
事業内容	看護学科、医療栄養学科、医療情報学科および助産学専攻科、大学院を有する医療系大学。五反田、世田谷、国立病院機構、国立病院機構立川の4キャンパスにて多様な医療分野に携わる人材を育成する国内最大級の医療系大学。								
URL	http://www.thou.ac.jp/								



課題解決 >>> 学内情報共有で教務、学生の履修を支援

この事例のポイント

- 1 学内情報共有と学生の履修支援にグループウェアの導入を検討。
- 2 学生の使いやすさ、運用・設定のしやすさとコストを評価しdesknet's NEOを採用。
- 3 学内外でdesknet's NEOを活用。医療人に不可欠な情報共有の大切さを学ぶ。

ご利用中の機能と使い方

15 スケジュール

大学全体、事務局、各学科、学長・学部長、教員のスケジュールを全学公開。予定が合わない教員同士の打ち合わせ調整もスムーズになった。学生が教員に質問・相談する際には所在を確認後訪問。研究時間をスケジュール履歴から算出し、科学研究費申請に役立てる教員もいる。

インフォメーション

「教務部から全校」「学生支援センターから各学部」「図書館から全学部」などカテゴリ分けして学生向けに情報を発信。休講、補講、試験日程、教室変更、就職支援や求人情報、学期ごとのガイダンス等を告知。緊急を要する案件ではメール配信でdesknet's NEOを確認するよう促す。情報を逃さぬよう通知メールを活用する学生も多い。

設備予約

教職員が会議室や演習室の運用に利用。教授会、学内会議、ゼミ、学部勉強会、研究会、ゼミや学生面談などの予約管理にスケジュール管理と合わせ活用されている。事務局は全キャンパスと関わっているため閲覧の機会が多。

回覧・レポート

教員が課題を出し、学生が回答を送る手段として活用。学生にレポートの趣旨や詳細、フォーマット、提出締切日などを提示。既読状況の把握、提出後のレポート管理にも役立ち複数教科の教員に活用が広がった。

安否確認

教職員と学生約2,500名の登録、実用化に向け準備中。

文書管理

稟議書や支払承認などの共通フォーム、学則等の諸規程、大学動静などのフォルダを設定して情報を開示。教員は情報共有目的に学部・学科・コース・分野別にフォルダを設定し活用。学生向けには授業用資料として学部・学科・コース・分野別にフォルダを設定しシラバス、時間割、講義資料などを保存し公開。症例写真等を含むデータ量の多い講義資料も共有できメールの添付ファイルを抑制する効果も上げている。

アンケート

一部の教員が学生への意見収集や問題作成・回収に活用。意見、回答を集約してCSV形式で保存。表計算ソフトで管理し、比較採点や分析に利用している。

ご利用中のお客様の声

学内情報共有と学生の履修支援にグループウェアの導入を検討。

—— 情報リテラシー教育にたいへん力を注いでいるそうですね。

医療人にとってITの活用は必須です。高度先端医療に不可欠な診療データの共有と分析、守秘義務や個人情報取り扱いなどの意識や倫理感を育てるため、全学生にノートパソコンを貸与し入学時より情報リテラシーをカリキュラムに組み込んでいます。

—— グループウェアの導入背景について、お聞かせください。

教職員向けには大学から教員への情報発信やスケジュール、各種文書の共有。学生向けには、講義スケジュール、シラバスや資料の配付と共有、レポート提出などへの活用が主目的でした。教員と学生相互のスケジュール共有や所在確認、休講や教室変更の緊急告知など、連絡事項のリアルタイム共有もめざしていました。

学生の使いやすさ、運用・設定のしやすさとコストを評価しdesknet's NEOを採用。

—— 製品選定の決め手、導入後の学内展開についてお聞かせください。

新入生の利用も想定し、機能の使いやすさ、導入後の運用・管理や設定のしやすさ、キャンパス・学部新設にともなう学生・教員増への対応、コストなどからdesknet's NEOを採用しました。キャンパスが分散しているため全学同時に同じ環境で活用できるのがいいですね。入学後すぐID、初期設定パスワードを提供し、新入生が同時に利用を開始します。desknet's NEOは情報リテラシー教育の初期カリキュラムに組み込み、5月の連休明けには、使いこなせるよう指導しています。教務や履修課程での活用が定着しているため、教員から「新入生はいつからdesknet's NEOを使えるようになるのですか?」と待ち望む声が上がることもしょなくありません。

学内外でdesknet's NEOを活用。医療人に不可欠な情報共有の大切さを学ぶ。

——大学の事務や教務において、どのような効果が得られましたか?

最も利用されているのが[スケジュール]です。連絡を取るのに苦労していた教職員相互の所在確認が効率化され、分散されたキャンパスを行き来

「教職員300名と学生2,200名が全員で活用。自由な意見交換や履修支援に欠かせません。」



する理事や教員の所在もすぐわかるようになりました。教員から要望が高かった[文書管理]は、学部・学科・コースなどの単位でフォルダを設け、シラバスの共有と参照、学部会や研究会、教員から学生への教材・授業情報の提供などに活発に利用されており、アクセス権を設定してゼミなどの小グループにも活用が定着。[設備予約]は[スケジュール]と併用し、教授会や学内会議時の施設管理に活かされています。

——学生の皆さんの利用度はいかがですか?

[インフォメーション]は教務部から全学、学生支援センターから各学部などの大学からの通知、急な休講や教室変更など日々の最新情報を提供して、学生が個々の時間を有効活用できるよう配慮しています。[文書管理]は履修に不可欠で、教材や講義の事前資料の配付に活用しています。講義の際はダイジェスト版の紙資料を学生に配りフルバージョンの資料を別途共有する手法がよく用いられています。医療系講義資料は情報量も多く、高精細な症例写真も多用されているため、教員、学生ともに助かっています。[回覧・レポート]は文字通りレポート提出に活用され、

教員が提示するレポートの趣旨や詳細、フォーマット、提出締切日に従い学生が提出します。提出後の管理もしやすく活用する学部、教員が増えています。

—— desknet's NEOが学生に与えた影響や効果についてお聞かせください。desknet's NEOは履修に欠かせないシステムとして活用されるとともに、医療人にとって重要かつ正確な知識と情報の共有、複数の眼を通して症例やデータを論考することなどを身につけさせてくれます。卒業後医療人として活躍する際にも、本学での情報共有の経験が活かされると思います。

総務人事部
システム担当部長

市原 芳郎 様

総務人事部
システム担当

小座間 英樹 様

教務部兼総務人事部



神長 克幸 様

教務部



望月 陽子 様



導入時期	2016年	職員数	700名	設立	2009年	所在地	福岡県福岡市・久留米市
事業内容	2013年福岡県認定、2014年内閣府認定の公益財団法人に移行。健診団体として巡回健診、施設健診、がん・生活習慣病等の予防医学活動、健康教育・保健指導等の健康増進活動を実施。健康と環境に関する調査・統計資料の発行、健康情報を発信。						
URL	http://www.sukoken.or.jp/						

課題解決 >>> 事業所間を結ぶコミュニケーション基盤の統合

！この事例のポイント

- 1 離れた4拠点、異なる部署をむすび、リアルタイムの情報共有を実現したかった。
- 2 豊富なアプリケーションと機能。操作のしやすさでdesknet's NEOを採用。
- 3 短期間で情報の周知徹底や営業効果に直結。部署間交流による事業の発展にも期待。

ご利用中の機能と使い方

ウェブメール

メールの統合で、異動に伴うデータ移行や設定作業の手間もなくなった。メールのアーカイブや設定も一括で行えるようになり、管理運用の手間が大幅に軽減された。

15 スケジュール

スケジュールの共有化で、組織全体の日程調整の手間と時間を軽減。健診の営業担当者は、営業先で健診チームのスケジュールを確認し、迅速に健診日程を決定できるようになった。

回覧・レポート

医療界の最新動向やセミナー案内等、職員に周知すべき情報に活用。かつてはメールやFAXで送信していたものをすべて移行。情報の提供から共有までが迅速になった。

インフォメーション

以前はメールの一斉送信やFAXに頼るしかなかった。組織全体の事務連絡や通達事項、一斉告知などに活用。勤怠管理システムの利用で毎朝必ず全職員がログインしてチェックするため、情報伝達のタイムラグ、見落としがなくなった。

設備予約

会議室などの設備や検査目的に応じ保有している43台の検診車などを管理。健診機材の空き状況や稼働率を把握。設備利用の重複が防止できるようになった。

議事録

従来すべての会議は議事録を作成し時系列でファイル保管してきたが、今後は[議事録]へ移行し保管場所の省スペース化やペーパーレス化を進めていく。

ワークフロー

離れた事業所間でも申請・承認が可能で、申請書ごとの確な承認経路を設定でき、申請者が承認過程を確認できることを評価。医療・健診関連機器の購入、採用・退職の起案書など利用度の高い書式から順に完全移行する予定。

ご利用中のお客様の声

離れた4拠点、異なる部署をむすび、リアルタイムの情報共有を実現したかった。

— 事業団全体の情報共有改革の背景には何があったのですか？

当事業団は「学術研究センター」「事務局・本部付設クリニック」「福岡国際総合健診センター」「環境科学センター」の4事業所が福岡と久留米に分散しています。事業所を結ぶ共通の情報基盤がなく、情報把握に個人や部署でタイムラグが生じ、組織的な情報共有に時間がかかっていました。2014年内閣府認定の公益財団法人になると、情報共有の改革は財団の社会貢献活動を支える上でますます重要となり、組織運営の基盤となる健診事業の質的向上や営業力強化にもつながると考えました。特に市区町村への健診事業では入札条件にプライバシーマークを求める自治体が急増。折しもプライバシーマーク取得に向けてネットワーク環境の再整備、端末管理の厳密化を進めていたところでした。そこでグループウェアも導入して情報共有の環境を刷新・統合することにしたのです。導入後はユーザーの利便性だけでなく、ネットワーク上の情報を緊張感・責任感をもって管理す

る意識醸成にも役立てたいというねらいがありました。

豊富なアプリケーションと機能。操作のしやすさでdesknet's NEOを採用。

— 製品選定の手法とdesknet's NEOご採用の決め手についてお聞かせください。

ベンダー数社より製品提案を受け、プレゼンには事業部内の各部署からITスキルやPC習熟度が異なる課長職以上が全員出席しアンケートで採点。特に反応が良く評価が高かったのがdesknet's NEOでした。なるべく1製品で活用の幅を広げたいと願う私たちの要望に合致し、実務ですぐ使い、将来的に活用できそうな機能が過不足なく揃っており、「ウェブメールの使いやすさと誤送信防止などの付加機能」「部門・部署ごとに細かくアクセス権設定ができる」「インターフェースがわかりやすく、教育に時間を費やさずに済む」「機能とコストのバランス」「日本企業向けに開発、確かな採用実績」等が採用の決め手となりました。導入に際し普及プロジェクトチームを立ち上げ、導入～浸透教育の段階的な流れ

「健診事業を通して地域の健康課題に取り組む職員たちが、現場の気づきや知識を共有する場として活用しています。」



を検討。業務の中で利用機会を増やし、自然な流れで活用度を高めました。浸透後はファイルサーバーや業務関連システムのリンクを段階的にメニューに追加し、desknet's NEOを介してあらゆる情報にアクセスできるポータル化の推進や各種申請書類や会議議事録の[ワークフロー][議事録]への移行でペーパーレス化などを進めています。

短期間で情報の周知徹底や営業効果に直結。部署間交流による事業の発展にも期待。

— 導入後にまずお感じになった手応えや効果はありましたか？

組織全体のコミュニケーション基盤が整備され、電子メールも[ウェブメール]に統合。端末管理の工数も削減できました。場所・端末を選ばずdesknet's NEOにログインすれば安全に使えるので、健診事業部職員のメール利用などは、健診現場の共有PCで充分まかなえてしまいます。さっそく余剰な端末の台数も減らせました。職員全体の[スケジュール]が共有できたことで営業効率も上がり、健診事業では担当者が営業先で健診チームや検診車の稼働状況を確認。その場で健診日が確定でき、健診チー

ムや検診車の稼働率も向上しました。

— 健診事業や健康寿命延伸の取り組みに役立てていただけそうでしょうか？

[スケジュール]で健診チームの稼働率が上がるだけでも、健診受診率は確実に向上し有用な健診データが集まります。地域の健康課題を映す健診データは、あらゆる年齢層の疾病予防や健康寿命の延伸に活かされ「健診事業の成果を地域の健康福祉に還元する」良い循環が生まれます。desknet's NEOで職員の意思疎通が円滑になれば、現場のチームワークはいっそう高まり、健診サービスの向上やインシデント予防にも役立てられるはずです。現場の知識や経験の蓄積は、私たちの知的資産として活かされていくことになるでしょう。

理事長・会長 医学博士



瓦林 達比古 様



導入時期	2015年	従業員数	25名	創業	1973年	所在地	茨城県つくば市
事業内容	海洋調査会社。最新鋭の探査機器を駆使した「海底地形測量・海底面探査・地層探査」のノウハウを確立。建設、通信、エネルギー、水産、海事・海運、空港運営などの企業、国・自治体、学術研究機関の依頼を受け、多様な領域の海洋調査・探査を実施。						
URL	http://www.ocean-eng.com/						

課題解決 >>> 申請書類の電子化や機材管理で調査出張を支援

この事例のポイント

- 1 海洋調査の現場と本社をつなぎ、申請・承認をスムーズにしたかった。
- 2 機能性を評価しdesknet's NEOを採用。ISMS推進にも活かされた。
- 3 海洋調査中の事務負担軽減や探査機材の運用管理を実現。監査にも有効と評価される。

ご利用中の機能と使い方

ワークフロー

社内申請のほとんどを移行。調査で長期出張する際も、出張先から購入申請などを提出できるようになり、申請書の滞留、事後申請をなくした。メール通知機能の活用で、現場でも承認状況を確認でき、帰社後の書類作成の負担もなくなった。

設備予約

会議室、社用車だけでなく、約150アイテムの海洋探査・調査機材の運用管理に活用。稼働状況がひと目でわかり、機材の運用効率向上や技術営業の日程管理などに貢献。出勤ごとに掛ける保険計算の効率化にも役立てられている。

ポータル

利用度の高い各種帳票や書式のアイコンをユーザーのリクエストに応じて設置。

回覧・レポート

親会社からの通達、定期的に発信されるコンプライアンス関連情報の共有・閲覧に利用。社内掲示・全社員の閲覧が義務付けられている文書などでは[回覧・レポート]を活用することで、確実に社内共有できていることを実証している。

15 スケジュール

以前はホワイトボードで管理していたが、スケジュール共有が徹底され、出張が多い職場で、社員が互いの所在を知るのに役立っている。

インフォメーション

レスポンスがいない全社への告知情報に活用。総務部からの通達などで利用度が高い。

タイムカード

desknet's NEO導入後の利用定着に貢献。以前は出勤簿で管理していたが、親会社の監査から「時間管理を厳密に」との通達があり、労務管理上も有効に機能。CSVエクスポートで出勤簿としても保存・管理している。

文書管理

各種帳票、伝票などのフォーマット、部署ごとのファイル共有・保管に活用。

安否確認

ISO27001(ISMS)の認証取得に必要なため利用を開始。全国各地、沿岸部の海洋調査が多いので重視している機能。訓練メール機能を使って定期的な演習も行っている。

ご利用中のお客様の声

海洋調査の現場と本社をつなぎ、申請・承認をスムーズにしたかった。

—— グループウェア導入のきっかけ、解決したかった課題はなんでしたか？
ISO27001 (ISMS情報マネジメントシステム) 認証取得を契機に情報環境を刷新。海洋調査のデータ用にファイルサーバーにも充分なゆとりを設け、恵まれた環境をさらに活かそうとグループウェアを検討しました。社内のコミュニケーションは良好でしたが、書類申請などに活かせると思ったのです。海洋調査は出張の連続で、調査船の機材外注費や備品購入、出張諸経費などの申請書を現地作成するゆとりがありませんでした。現地から電話で案件確認し、帰社後急いで起案する事後承認も多かったのです。上場企業（応用地質株式会社）の子会社として月次決算が厳密なため、グループウェアで申請業務を電子化すれば迅速な承認と現場責任者や経理担当者の負担が軽減できます。さらに、出張スケジュールの迅速な確認決定、調査資料の共有、調査機材の利用管理など得られるメリットは大きいと予測しました。

機能性を評価しdesknet's NEOを採用。ISMS推進にも活かされた。

—— desknet's NEO ご採用の決め手についてお聞かせください。

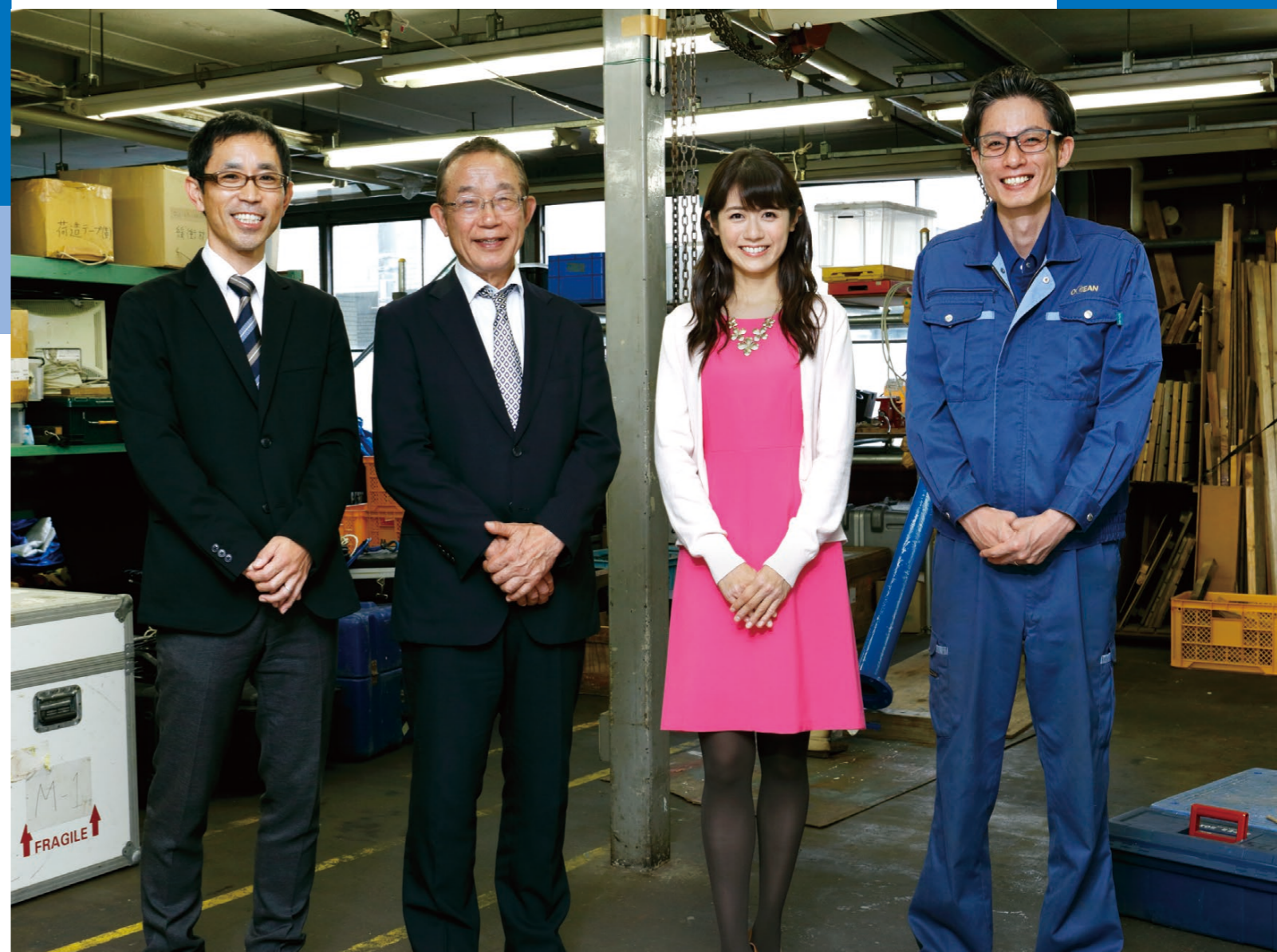
desknet's NEOの [ワークフロー] や [回覧・レポート] が特に使いやすかったことです。システム専任者はいないので管理や設定がしやすいことも評価しました。ISMS推進の一環と位置づけ、情報セキュリティへの意識啓発と同時に利用を開始。出社と同時に必ずログインする [タイムカード] の採用が利用定着に役立ち、そのままフルタイムの活用がすぐに定着しました。

海洋調査中の事務負担軽減や探査機材の運用管理を実現。監査にも有効と評価される。

—— 導入後、まず実感できた効果はなんですか？

社内申請書類を [ワークフロー] に移行できました。利用頻度の高い書式がすべて規程通りに承認が流れ、統制が効くようになりました。出張申請と出張費の概算払いをセットにしたり、購入申請の申請番号・調査件名はメニュー選択で調査出張先での誤入力を予防。経理も請求書と突合しやすく、使いやすさがさらなる利用促進につながっています。利用定着後は社員のリクエストに応え、使用頻度の高い表計算書式や帳票類の最新

「海洋調査の出張先から迅速な申請・承認が可能に！
監査対応の情報管理にも活用しています。」



フォーマットにリンクするアイコンをdesknet's NEOのトップ画面に設定しました。案件受注時の予算や原価の管理も徹底され、案件ごとのシビアな原価意識も醸成されました。

—— 活用を通して、特に評価できる機能はありましたか？

海洋調査の探査機器・調査機材の管理に [設備予約] を活かしています。稼働状況がすぐわかり、調査日程や受発注の管理が速く行えるようになりました。利用状況はCSVエクスポートでグラフ化して機材別に稼働状況を分析。保険計算の効率化や稼働率に基づく保有台数の見直しや交換、新規購入条件の明確化など、コスト管理にも役立っています。

—— 実務効果や社内コミュニケーションの変化はありましたか？

[ワークフロー] の活用が現場の事務作業負担を減らし、現場作業や安全管理に集中しやすくなり、多忙な現場でも、desknet's NEOに必要な事項さえ入力すれば、規程に則った各種申請や書類作成・提出が可能となり安心感も加わりました。desknet's NEOの活用は監査対応の情報管理にも役立つグループ会社の業務改善研修会で労働安全衛生や内部

統制に活かされると評価されました。社員の業務負担を軽減しながら、事業経営の健全性や信頼性を維持する効果を発揮しているのが新鮮だったようです。社長が技術講習会や展示会の参加に熱心で、社員が取材した最新探査機器の発表会や学会シンポジウムの模様を [回覧・レポート] で報告。技術知識や調査スキルの向上に役立つ情報として共有するようにもなりました。海洋調査の現場ではチームワークが何より大切です。現場での気づきや技術交流にも役立つツールとして、自由に使いこなして欲しいですね。

代表取締役社長



栗原 則男 様

総務部 部長



森 恒紀 様

製品に関する最新の情報やお問い合わせはホームページから

🔍 デスクネッツ ネオ

検索

<https://www.desknets.com/>

NEOJAPAN

[開発・販売元] 株式会社ネオジャパン

本 社 〒220-8110 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2-1
横浜ランドマークタワー10階

大阪営業所 〒530-6107 大阪府大阪市北区中之島三丁目3-23
中之島ダイビル7階

TEL:045-640-5910(本社) 06-4560-5900(大阪営業所)
E-mail:neo@desknets.com

※ 記載されている各社の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
※ 記載されている内容については予告なしに変更することがあります。
※ 記事内容、記載データ等は、すべて取材時のものです。